

『主に感謝して乾杯！』詩篇116篇1～19節 2018.9.2 聖日礼拝説教より

『まことに、あなたは私のたましいを死から、私の目を涙から、私の足をつまずきから、救い出されました。私は、生ける者の地で、主の御前を歩き進もう。』詩篇116:8～9

詩篇(「テヒリーム」)の原意は『たたえの歌』。しかしその多くは、嘆き、苦悩、嘆き！本当の讚美は、苦難の中で激しく渴いて神を呼び、嘆きの中で本気で主に救いを求める者から出る！その時、嘆きの叫びが歓喜の叫びに変えられる。

❶ **神に感謝すべきこと**…キリスト者が何よりも神に感謝すべきは、キリストを通して与えられた「救い」！主の贖いを信じ、罪と滅びから救われたこと以上の感謝は他にない！弟子たちが驚くべき伝道の成果を報告した時の主の言葉…「悪霊どもがあなたがたに服従するからといって、喜んではなりません。ただあなたがたの名が天に書きしるされていることを喜びなさい(ルカ 10:20)」。本当に感謝すべきは、自分が滅びから救われ、永遠の命をいただき、天に名が記されていること！確かに神は、この世で、試練には逃れの道、病には癒し、悩みや悪霊からの解放をくださる！…しかし本当になくてならぬもの(罪の赦しと神との関係の回復)こそ、神による最高の奇蹟！では私たちは、どのようにして神に感謝すべきか？

❷ **感謝の方法**…詩篇 116 篇に、神に感謝する3つの方法が記される。❶ **神の平安に憩うこと(7節)**…創り主の愛を知り、信じ、その愛を確信することが、神への感謝の第一歩！不安なまま、感謝などできない！イエス様は十字架の前にも後にも、弟子たちに、「わたしは、あなたがたにわたしの平安を与える(ヨハネ 14:27、16:33)／平安があなたがたにあるように(ヨハネ 20:19、21、26)」と何度も呼びかけられた！❷ **礼拝と聖餐を守ること(13節)**…「御名を呼ぶ」とは礼拝、「救いの杯」とは聖餐。イエスは十字架の「苦き杯」を私たちの罪のために身代わりとして一滴も残さず飲み干され、「救いの杯」とされた。その杯は「喜びと勝利」！キリストの救いを喜び、罪と死と悪魔への勝利を祝う！暫く、罪やサタンとの戦いは続くが、主の再臨の時、勝利の祝宴が開かれる！聖餐は、その祝賀会の先取り！❸ **誓いを果たすこと(14・18 節)**！神に感謝する者は堅く決心する！今から後、神の愛のうちに歩み、導かれる主を信頼して従います(主の御前を歩みます(9節)と。どんなに素晴らしい能力があり、どんなに素晴らしい業績をあげ、どんなに賞賛される生涯でも、主への感謝がなかったら虚しい。

★この神の救いを知る人はあらゆる境遇を感謝し平安な生涯を全うさせていただける。